

植樹をしていますので、本数は増えていきます。また施工の単価は毎年毎年上がっています。

**Q 石材協同組合助成事業で「丁場道路補修工事交付金」150万円が毎年出ているが、毎年継続しなければならぬのか？**

A 町長 産業道路ですから、どうしても大きなトラックまたは重機が走ります。その関係から傷みは当然出ます。これを町で全部工事をやると莫大な金額が掛かるので、今の形を取るのが産業者にとつても町にとつても一番ベターな方法だと思いますのでご理解下さい。

**特別会計質疑(真鶴魚座・ケープ真鶴会計 部門)**

**Q 財産収入の魚座店舗貸付料で1店舗1ヶ月52,500円の料金が妥当かどうか、昨年の答えは「見直しは行っていないが今後検討する。」だったが？**

A 町長 今の景気が低迷している状況のなかで見直して料金を上げるのはいかがかという問題があるかと思えます。近隣の貸付の問題とか町内にある不動産貸付、こういったことから考えると、いまの現状においては妥当な線と考えています。現状維持ということをご理解願います。

**Q 魚座の一般管理費の中で管理**

員等報酬、臨時職員賃金、新規で上がってきているが、管理員を置くことになったのはどういう理由からか？

A 課長 以前の一般経費と食堂運営費の中でこれは精査して食堂の方で見ていたものを一般管理費に入れて、一般管理費のものを食堂に回したと、そういう今の形態にあったものに直したということですよ。

**Q 魚座の賄い材料費3,633万8千円は、22年度と比較すると700万円低くなっている。これはどういうことか？**

A 課長 収入の減に伴う分と、原価率を下げたことで下がっています。

**Q 22年度にケープ真鶴の予算に清掃業務委託料として198万1千円あったが、23年度は消えている。これは他の予算と合わせたのか？**

A 課長 清掃業務は委託でしたが、23年度は直雇いで対応するというところで臨時職員賃金に計上しています。

**Q 物品販売事業の消耗品費が533万円減っている。これは売り上げが減ることか？**

A 課長 収入が大分落ちてるといふことで、その分支出の方も落ちるといふことです。

**Q 今この時点までの真鶴魚座とケープ真鶴の収支が、それぞれどうなっているのか？**

A 課長 決算見込みを出した数字ですが、トータルすると約460万円の赤字になるといふことで一般会計から500万円の借り入れをしました。

**Q 真鶴魚座は補正予算の1回目と3回目の収支を計算すると82万3千円マイナスだ。ケープ真鶴は同様に148万2千円のマイナスになっている。それらを合わせると一般会計から500万円の借り入れをして収支トントンになっている。仕入を減らして売り上げを増やすのは果たして可能か？**

A 議長 収入の方は過去の実績、今年度の実績を見込みまして収入の方は10%上乘せした中で努力目標ということで計上させてもらっています。歳出の方は一応原価率の方を38%に下げた中で営業努力をしていこうと、そういう形で押さえています。

**Q ケープ真鶴の22年度の収入は2,730万2千円になると思いますが、来年度の売り上げは140万9千円増やして835万1千円、こちらは10%アップになっていますか？**

A 課長 ケープの方も収入見込みに対しまして10%の努力目標ということで計上しています。

**Q ケープ真鶴の一般管理費は、22年度予算から比べると387**

万8千円増えている。食堂の仕入関係では22年度の補正で6,731万6千円になると思っています。それで23年度の予算は6,710万7千円でほぼ横ばいであるか？

A 課長 ケープ真鶴は食堂売り上げが伸びています。賄い材料費の方は食堂売り上げの38%で計算しています。それから喫茶店は売り上げの25%で考えています。

**Q 予算書の中に22年度で借り入れする500万円の返済計画が入っていない。返済計画は？**

A 課長 500万円の返済計画は出ていませんが、22年度の収支がマイナスということで次年度以降営業努力した中で状況に応じて返していきたいと考えています。

**Q 特別会計は一般会計から持ち出しのままだと問題では？**

A 町長 商売はあくまでも水物です。だから経営感覚を身に付けて、観光客誘致に力を入れることを考えています。町民の皆様にも利用して下さいと町報でもお知らせしています。貴重なご意見はしっかりと真摯に受け止めて職員ともども努力していきます。

**Q メニューの改善等を考えているのか？**

A 課長 手間はかかるが面白いような魚、珍しい魚など、1品

加えることによつてお客さんが満足するような献立を工夫し考えていきます。

**Q 地物を提供する、これは大前提である。民間の料理屋はそれなりに手を掛けた物を出している。課長の答弁のように工夫すれば、魚座やケープの売り上げ増に寄与すると思うか？**

A 町長 企業努力は個々の店がやるべきだと思っています。町の施設は町の業者から主に仕入れることで町内業者の育成もしています。そして真鶴は、どの店に行っても同じ物が同じ料金で食べられるというのが、これが真鶴ブランドです。ブランド化について商工会・観光協会とも協議して頂ければ有りがたいと思っています。

**下水道事業特別会計予算**

**Q 新規の公共下水道事業認可変更業務委託料630万円の内容は？**

A 課長 現在工事を進めています。効率がよくするために23年度で事業が出来る区域の拡大を考えており計上しました。中身については直接人件費・経費そういったものを含んだ見込みが予算となります。

**Q 下水道の負担金で、現況の協定の中では23年度で終わることになっているが、町長として**